

女性に多い泌尿器科疾患があります。

年齢のせいなので仕方がないとあきらめがちな疾患ですが、手術や薬物治療で治せるものもあります。

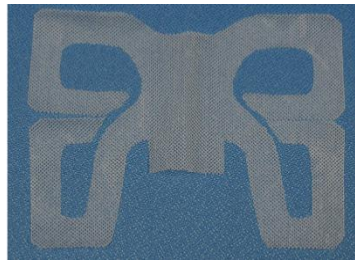
〈骨盤臓器脱〉



- ・膣からピンポン玉またはナスビのようなものが出る
- ・椅子に座ると何かが押し込まれる感じ
- ・何かが股にはさまっているような感じ
- ・おしっこが近い・出きらない
- ・下着に血がついている
- ・膀胱炎を繰り返す

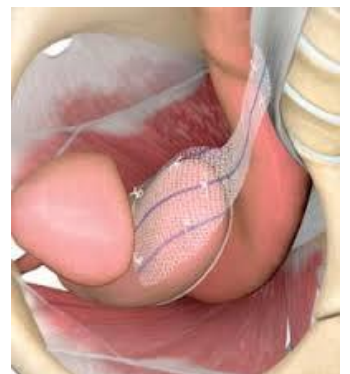
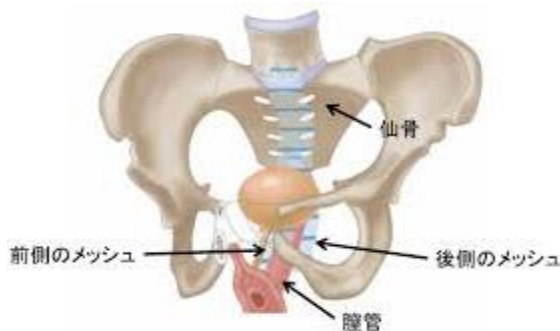
このような症状が複数あてはまっているという場合は骨盤臓器脱の可能性ががあります。

骨盤臓器脱は、主に出産・肥満・加齢などが原因で、骨盤底筋群がゆるむことによって子宮や膀胱、直腸、膣断端が膣から外に飛び出すというものです。80歳まで生きると約10人に1人が何らかの治療を受けるとされ、比較的頻度の高い疾患です。治療法はいくつかありますが、当院では主に手術療法を行っております。



① TVM手術

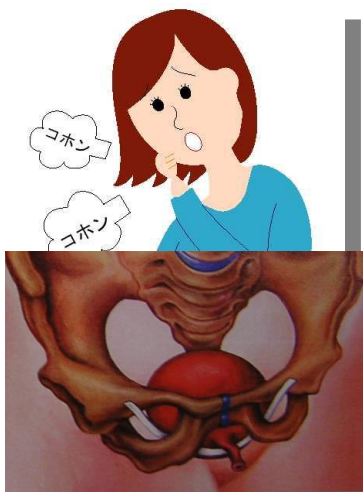
TVM手術では、図のようなメッシュを、膣壁から挿入して下垂した臓器を持ち上げます。手術時間は1時間～1時間半程度で、約5日間の入院期間です。



② LSC手術

LSC手術では腹腔鏡を用いて下垂した臓器の摘除や仙骨への固定をします。手術時間は3～5時間程度です。

〈腹圧性尿失禁〉



- くしゃみ、咳、大笑い
- たちあがった拍子
- 重いものを持ち上げたとき
- 小走り…

こんなときにもれたら腹圧性尿失禁の可能性ががあります。

内服や手術療法があります。

手術はテープで尿道を支えるという手術（TOT手術またはTVT手術）があり、80～90%の方で症状が改善します。手術時間は15分程度です。